

CHESS

Magazine



#25

April 2026
japanchess.org

Interview

木下奏子さん

[Next Generation]

松永冬馬さん

全日本チェス選手権 地区予選2026

全日本ユースチェス選手権2026
全日本カデッツチェス選手権2026



Japan
Chess
Federation

Tournament Report

特集

♥ 03 全日本チェス選手権地区予選 2026

♥ 12 全日本ユースチェス選手権 2026

16 全日本カデッツチェス選手権 2026

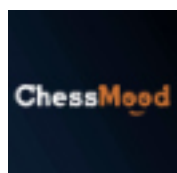
Interview

♥ 19 木下奏子さん

♥ 24 松永冬馬さん

♥ 26 チェス大会 in アメリカ NO.88

上杉賀子





Tournament
Report
大会レポート

全日本チェス選手権 地区予選2026



1月から3月にかけて全日本チェス選手権の地区予選が日本各地で開かれました。北は北海道から南は九州まで、2026年は過去最多の14大会が開催され、のべ377名が参加して競い合い、52名がシード権を獲得しました。チェスの「熱い季節」の記録をお届けします。

西東京チェス選手権 2026

佐藤祐弥（中野チェス クラブ副代表）

2026年1月18日(日)、中野区役所にて西東京チェス選手権2026を開催しました。32名の選手にご参加いただき、申込開始翌日に定員に達するなど多くの関心をお寄せいただきました。

大会開催にあたっては、区役所との調整やDCAの依頼など、TDを中心に事前準備が進められました。関係者のご尽力により、大会当日を無事に迎えることができました。当日は熱戦が繰り広げられ、第3ラウンド以降の開始時刻が繰り下がるイレギュラーも発生しましたが、大きなトラブルなく大会を終えられたことは何よりでした。

アービターとしては、立場上冷静に盤面を見守る必要がありましたが、内心では、劣勢の中でも勝機を求めて指し続ける選手の姿に心を打たれる場面や、一手のミスで勝負が決し胸を痛める場面もあり、チェスの奥深さを改めて感じ

ました。

結果は山口桃生さん、木原平さん、松永冬馬さんの3名が3.5/4ptで並び、タイブレークの差で山口さんが優勝となりました。この3名に加え野田龍さんが地元枠でシード権を獲得しました。皆様の全日本での活躍を願っています。

至らぬ点が多々あったかと思いますが、大会を無事に開催・運営できたのは、選手の皆様をはじめ、保護者・関係者の皆様、TDやDCA、スタッフの方々のご協力のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

■入賞選手：

- 1位 山口桃生 3.5/4P
- 2位 木原平 3.5
- 3位 松永冬馬 3.5

■全日本選手権出場権獲得：

山口桃生、木原平、松永冬馬、野田龍(地元枠)



中四国チェス選手権 2026

山田弘平（せとうちチェス クラブ代表）

2026年2月22日(日)から23日(月祝)の2日間、広島市中区のJMSアステールプラザにて中四国チェス選手権2026が開催されました。5回目の開催となる今年は、満員御礼となる32名の申込を頂き、最終的には昨年に匹敵する28名という規模で開催することができました。

今年も初日に非公式のブリッツトーナメントを開催しました。大ベテランの山田さん、杉本さんに混じって、広島から初参加のVelascoさんが優勝争いを繰り広げ、3.0/5で3位入賞。ベテラン勢vs地元勢の構図が印象的なイベントとなりました。

メインイベントでは熾烈な優勝争いが繰り広げられました。優勝は、最終ラウンドでトップ逆転となる勝利を挙げた田村輝さん。昨年の2位に続き好成績を収めました。20代から30代のプレーヤーが上位を占め、棋力の充実ぶりをアピールしました。全日本選手権での活躍を期待しています！

地元枠1位はURながら3勝を挙げた寺川さん。ジュニア1位は昨年に引き続き古瀬さんが受賞しました。プレーの内容も上位陣に劣らず、来年は全体での入賞を期待しています。

今年は常連から初参加の方まで、全国からたくさんの方々にお

越しいただきました。来年は地元
枠のプレーヤーが増えるよう、日
々のクラブ活動も頑張っていこう
と思います。

■入賞選手

オープン：

- 1位 田村輝 (東京) 4.5/5P
2位 荒木大 (京都) 4.0
3位 山道淳也(兵庫) 4.0

中四国1位：

寺川十希(広島) 3.5P

ジュニア1位：

古瀬瑞季(東京) 3.0P

■全日本選手権出場権獲得：

田村輝、荒木大、山道淳也、
寺川十希(地元枠)



大阪チェス選手権2026

高安信行 (大阪アンパサン チェスクラブ副代表)

標記の大会が2月28日と3月1日
の2日間にわたり開催されましたの
で、概要を報告します。参加者は
32人で大会参加枠は5名となりまし
た。今回地元枠は2025年中に大阪
アンパサンチェスクラブか大阪阿
倍野チェスクラブの例会に参加し
たことのある人を対象にしたところ、
該当者が13人ということになりまし
た。

今年からチーフアービターにNA
資格が必要になったため、高砂チ
ェスクラブ代表の小野さんに依頼
して3名のスタッフで臨むことにな
りました。

1Rはドローが1局だけありまし
たが、その他は順当に上位者が勝
ち星をあげました。波乱は2Rに起
こりました。今回の大会参加者の中
でレーティング首位であり、優勝
候補筆頭と思われていた天野倉
さんが、序盤早々信じられないよ
うなブレンダーで星を落としてし
まったのです。この結果、2R終了
時点で連勝者は7人になり、この中
には参加順位13位ですが、某FMから
ドローを獲得したこともあるとい
う驚異の小学生、新居くんも含ま
れていました。3Rにはその新居く
んと天野倉さんの対戦が組まれま
した。この1局は時間切迫の激戦
となりましたが、天野倉さんの時
計が落ちてしまい、残念なことに
権利獲得の可能性もほぼなくなっ
てしまいました。1日目終了時点

で3連勝者は田中(智)さん、山道さ
ん、井出さん、新居くんの4名にな
りました。

2日目の4Rでは新居vs田中、山
道vs井出の対戦が組まれ、いずれ
も白番の新居、山道両名が勝ち、
次の最終ラウンドで優勝を争うこ
ととなりました。この時点で新居
くんの全国大会出場権が確定(山
道さんはシード権保持者)しまし
た。一方、地元枠争いについては、
4R終了時点でDibaさんが3ポ
イント(P)でトップを走り、2.5
Pで蛭川さんが追っていました。
最終の5Rでは白番の新居くんが
山道さんに勝って堂々の全勝優勝
となりました。その他の順位につ
いては上記のとおりになりました。
地元枠争いについては、5Rで
Dibaさんが負けて、蛭川さんが勝
ったため、3.5Pの蛭川さんが逆転
で全国大会出場権を獲得しまし
た。なお、実際の順位は同じ3.5P
の神田さんがタイブレークの関係
で6位になりましたが、地元枠に
は該当しなかったので権利獲得に
はなりません。ただし、神
田さんは今回の参加者の中では一
番遠くから参加されたので「遠く
から来て賞」を獲得しました。

今年も無事に選手権大会をつつ
がなく終わることができてホッ
としています。最後になりました
が、TDの田部さん、CAの小野さ
ん、Bye要員(人数が奇数のラウ
ンドでは自分がByeとなり、他の
参加選手がByeとならないよう
に調整する)および盤駒の一部提供
にご協力くださった高島さんの3
名におかれては、ご協力本当にあり

とうございました。

■入賞選手：

- 1位 新居冬馬 5.0/5P
- 2位 山道淳也 4.0
- 3位 田中智 4.0
- 4位 井出大輔 4.0
- 5位 糸数アントニオ 4.0

■全日本選手権出場権獲得：

新居冬馬、田中智、井出大輔、
糸数アントニオ、
蛭川義友(地元枠)



九州チェス選手権2026

末次健太郎（伊万里チェス クラブ事務局長）

2026年3月14日（土）、福岡県久留米市の久留米市民交流センターにて「九州チェス選手権2026」を開催しました。今大会には九州各地に加え、北海道や東京都、さらに4名の外国人選手を含む計16名が参加。10歳の小学生から70歳のベテランまで、多彩な顔ぶれが一堂に会する貴重な大会となりました。

大会は序盤から上位陣が力を発揮し、第2ラウンド終了時点で3名が2勝で並ぶ接戦に。第3ラウンドを終えると、坂井さんと赤井さんの2名が3ポイントで首位に立ちました。最終第4ラウンドは両者の直接対決となり、長時間の熱戦の末にドロー。タイブレークの結果、坂井さんが優勝を飾り、両名に全日本チェス選手権のシード権が与えられました。続いて3位にジン・サンウさんが入賞しました。優勝した坂井さんは「昨年、一昨年も最終ラウンドで勝てば優勝できていたので、今回は負けずに済んでよかった」と振り返りました。終局後には別室で感想戦が行われ、盤面を囲んで交流を深める姿が印象的でした。

本大会を通じ、九州内外の選手が交流し、チェスのさらなる発展を感じられる一日となりました。アービターを務めていただいた神田大吾氏、運営にご協力いただいた久留米チェス同好会の皆様、そ

して参加者の皆様に深く感謝申し上げます。

■入賞選手：

- 1位 坂井延寿 3.5/4P
- 2位 赤井清隆 3.5
- 3位 ジン・サンウ 3.0

■全日本選手権出場権獲得：

坂井延寿、赤井清隆



信州チェス選手権2026

篠田太郎（松本チェス クラブ副代表）

昨年度に続き、松本にて『信州チェス選手権』を持ち時間45分+30秒/手、5ラウンド制で開催しました。地元のプレーヤー8名に加え東京方面、名古屋・大阪方面からもご参加いただき、20名での開催となりました。

初日は第1ラウンドからトップボードがドロウになるなど、混戦を予感させる展開でした。地元プレーヤーのBaze、三浦を含む4名が2連勝で初日を終わりました。

二日目は激しいポイントレースが繰り広げられました。第4ラウンド終了時点でBazeが単独4連勝。2位グループの4人に1ポイント差を付けてリードしていましたが、地区予選では優勝争いだけでなくシード権争いも行われるため最後まで目が離せませんでした。そして最終第5ラウンド、Bazeは劣勢のエンドゲームを何とかドロウにエスケープし優勝を決めました。2位グループで唯一勝利を挙げた山道が単独2位、3.5ポイントで最もタイブレークが上だった三浦が3位でのゴールとなりました。またシード権はBaze、三浦、青木の3名に与えられました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。信州選手権から全日本選手権に出場される選手たちの健闘をお祈り申し上げます。（以上、敬称略）

■入賞選手：

- 1位 Baze Rejold 4.5/5P
- 2位 山道淳也 4.0
- 3位 三浦義人 3.5

■全日本選手権出場権獲得：

Baze Rejold、三浦義人、青木康祐



西九州チェス選手権 2026

末次健太郎（伊万里チェス クラブ事務局長）

前日の九州選手権に続き、3月15日（日）、佐賀県伊万里市の大坪コミュニティセンターにて「西九州チェス選手権2026」を開催しました。

地元・佐賀県をはじめ九州各地、さらには遠方からの参加者も加わり、計12名が出場。そのうち8名は前日からの連戦でしたが、会場には疲れを感じさせない熱気が広がり、序盤から白熱した対局が続きました。第2ラウンドでは上位実力者同士の二つの対局が引き分けとなり、順位争いは一気に混戦へ。緊張感の高まる終盤を制して優勝したのは、小学生の古瀬さんでした。「今年もシード権が取れるかなという不安やプレッシャーがあったけど、優勝してシード権が取れて嬉しかった」と、喜びの声を聞かせてくれました。2位は杉本さん、3位は白水さんが入賞。また、地元枠として設けられたシード権は、初参加ながら4位に食い込んだ宮崎県の吉田さんが獲得しました。

今大会は規模こそ小さいものの、地元で開催できたことは大きな意義があり、ケーブルテレビでのニュース放送も含め、競技普及に向けた重要な一歩となりました。最後に、アービターを務めていただいた林幸司氏、運営にご協力いただいた皆様、そして2日間に

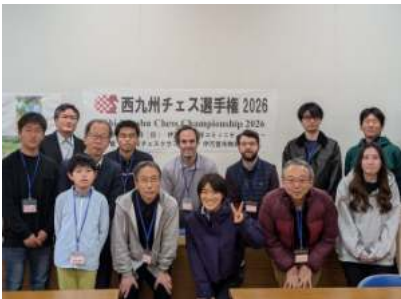
わたり参加くださった選手の皆様に、心より感謝申し上げます。

■入賞選手：

- 1位 古瀬瑞季 4.0/4P
2位 杉本公一 3.0
3位 白水宏樹 3.0

■全日本選手権出場権獲得：

古瀬瑞季、吉田晃大(地元枠)



北東京チェス選手権 2026

日程：3月15日(日)

会場：北とぴあ(東京都北区)

形式：スイス式4ラウンド、30分+30秒/手、国内スタンダード公式戦

参加選手人数：42名

1位 松村心 4.0/4P

2位 平尾聡至 4.0

3位 上谷敏章 4.0

■全日本選手権出場権獲得：

平尾聡至、上谷敏章、北神匠、Etabag John Vincent、長谷川愛美

北海道チェス選手権 2026

杉本公一(札幌チェスクラブ副代表)

2026年3月21日から22日に、北海道チェス選手権2026が札幌の「かでの2.7」で開催されました。

持ち時間は40分、1手ごとに30秒加算、全5ラウンドで実施しました。

参加申込は19名でしたが、開催前日に次男の方が体調不良となり、久枝さんご家族3名のうち、お父さんと長男のエロン君のみが参加されました。最終的な参加者は18名で、そのうち地元枠対象者は16名と、地元参加者が大半を占めました。また、韓国からの留学生2名も参加しました。

今回が初めてのチーフアービターとなる上松さんでしたが、問題なく大会運営が行われました。

優勝したDryglasさんは国内レーティング上位20名に入っており、2位のKimさんはFIDE国籍が韓国籍、3位の古瀬さんは西九州選手権優勝によるシード権保持者でした。このため、上位3名はいずれ

も今回の全国大会シード対象外となりました。

全国大会のシード権は、本田さん、宮谷さん、吉井さんの3名が獲得しました。

参加者はレーティング順に6名ずつ、オープン・Aクラス・Bクラスの3クラスに分けて表彰しました。Aクラスは宮谷さん、穴戸さん、西森さん、Bクラスは鈴木さん、伊東さん、Hong(洪)さんが表彰されました。

■入賞選手

オープン：

- 1位 Dryglas Maciej 4.5/5P
2位 Kim Changhyung 4.0
3位 古瀬瑞季 3.5

Aクラス：

- 1位 宮谷涼平 3.5/5P
2位 穴戸健太 3.0
3位 西森敏之 2.5

Bクラス：

- 1位 鈴木弉雲 2.0/5P
2位 伊東克英 2.0
3位 洪浚榮 2.0

■全日本選手権出場権獲得：

本田佳己、宮谷涼平、吉井優紀彦



愛知チェス選手権2026

堀江貴広（名古屋チェス クラブ代表）

3月22日、愛知県名古屋市のアマノ芸術創造センター名古屋に於いて「愛知チェス選手権2026」が開催されました。

大会形式はスイス式4回戦30分+30秒/手の1日制で行い、34名の方に参加して頂きました。

第3局を終え全勝者は3名となり、最終4ポイントが2名並び、タイブレークにより以下の結果となりました。

入賞者には楯と賞品の授与、また2名の方に奨励賞の棋譜用紙とボールペンが授与されました。

代表選出された皆様の全日本選手権での御活躍を祈っております。

■入賞選手：

- 1位 若森毅士 4.0/4P
- 2位 篠田太郎 4.0
- 3位 Scott,Tyler 3.0

■全日本選手権出場権獲得：

若森毅士、篠田太郎、阿部太郎、Patil,Rushad、坂本彬紘



京都チェス選手権2026

レオナルド・ブリンクマン (Caissa大阪チェスクラブ 代表)

3月22日（日）、京都の桜の開花直前、32名の選手が集結し、4ラウンド制、持ち時間30分+30秒のスタンダード形式、日本国内公式戦対象大会である京都選手権2026が開催されました。これは今年開催される数少ない最終予選大会の一つです。

32名の選手が参加したこの大会は、東京で開催される日本選手権への出場権をかけたシード選手5名を選出するもので、その中には地元枠ということで京都から参加された8名のうち1名が含まれます。

第1ラウンドでは大きな番狂わせはなかったものの、レーティングが350ポイントも高い井出大輔選手を若手の糸数アントニオ選手が破ったことは注目に値します。

第2ラウンドはより白熱した戦いとなり、4局が引き分けに終わったことからそれがうかがえます。ボード2では、白番のBold Tsogt-Ochir選手が京都の柳井愉也選手と激戦の末、引き分けに持ち込みました。駒数でやや劣勢だった柄澤勇太選手は、松山武史選手と3度目の引き分けとなりました。京都の井出大輔選手は、キング+ビショップ+ポーン対キングのエンドゲームで前田康太郎選手と引き分けました。これは、ポーンが「間違った色の」ビショップと同じルークファイルにあったためです。

また、白番の犬飼一統選手とシェルドン・ドナルドソン選手も引き分けとなりました。ポーンとマイナーピースがほとんど残っていない終盤戦の真っ只中、シェルドンは自分のナイトを犠牲にして、最後に残った白のポーンを奪い、キング+ビショップ対キングの引き分けに持ち込みました。

第2ラウンドと第3ラウンドの間に昼食休憩が予定されていましたが、各ラウンドで数局が60手を超える長丁場となったため、この日最長の対局を戦った寺澤甲子郎選手とチョウ・ジロウ選手の昼食時間は短くなってしまいました。この対局は寺澤甲子郎選手の勝利に終わりました。

第3ラウンド開始時点で、2ポイントを獲得した選手は5名いました。ボード1では、レーティング1位の小林厚彦選手（2214）が白番で田中峻介選手（1858）を相手にミスなく勝利を収めました。ボード2では多賀裕登選手が坂井あづみ選手の連勝を阻止し、ボード3では山道淳也選手が終盤の局面で坂井延寿選手にわずかに上回られ、1ポイントを献上しました。

第4ラウンド、ボード1の坂井延寿選手は小林厚彦選手に敗れ、小林選手は京都選手権2026のチャンピオンに輝きました。ボード5では、坂井あづみ選手（白）と糸数アントニオ選手による白熱した対局が繰り広げられました。坂井選手は駒を犠牲にして中央のポーン2つを獲得し、展開で大きくリードを広げました。中盤では白のキングが盤中央に現れ、動きの鈍い黒

の駒に攻撃を仕掛けました。勝利目前まで迫ったものの、糸数アントニオ選手が巧みな手口で白をチェックメイトに持ち込みました。

最終ラウンド終了後、表彰式が行われ、小林厚彦選手のチャンピオン獲得を祝福するとともに、他の入賞者の皆様にもお祝いを申し上げます。また、大会を通して素晴らしいスポーツマンシップを見せてくださったすべての選手の皆様に心より感謝申し上げます。

■入賞選手：

- 1位 小林厚彦 4.0/4P
- 2位 多賀裕登 4.0
- 3位 坂井延寿 3.0
- 4位 田中峻介 3.0
- 5位 山道淳也 3.0
- 6位 荒木大 3.0

■全日本選手権出場権獲得：

田中峻介、寺澤甲子郎、
Sueyoshi Henna Jose Luis、
柳井愉也、犬飼一統(地元枠)



東北チェス選手権2026

阿部泰斗

2026年3月28日(土)から29日(日)の2日間、福島市にある福島テルサにて東北チェス選手権2026が開催されました。

仙台チェスクラブ高橋さんに代わって本大会を開催しました。準備にあたり、連盟理事の篠田さんとCAの阿部裕太さんにご協力をいただきました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

例年のように仙台ではなく福島での開催となった今年は、例年とはまた違った参加者も多く見受けられたのが印象的でした。この大会を機に連盟の会員になった選手や遠方から参加される選手のみなさん、本当にありがとうございます。

初日が18名、2日目が17名で行われた本大会は多賀裕登さんが全勝優勝を決めました(5.0pt/5)。おめでとうございます。

多賀さんが既に権利を取得しているため、全日本選手権の権利は2位から4位の選手に与えられました。2位佐藤慧人さん(地元枠、4.0pt)、3位義之岳史さん(3.5pt)、4位柄澤勇太さん(3.5pt)(タイブレーク順)。全日本チェス選手権での活躍を期待しています。

本大会の棋譜はChess-Results上で公開されていますのでぜひご覧ください。

<https://s1.chess-results.com/PartieSuche.aspx?lan=1&id=50023&tnr=1354780&art=3>

■入賞選手：

1位 多賀裕登 5.0/5P
2位 佐藤慧人 4.0
3位 義之岳史 3.5

■全日本選手権出場権獲得：

佐藤慧人、義之岳史、柄澤勇太

千葉チェス選手権2026

小笠誠一（千葉チェスクラブ代表）

我が千葉チェスクラブは2017年に関東で初めての地方クラブが地方予選を開くことにこぎつけ、その年以来毎年コロナ禍を物ともせず開催し続けました。そうした意味もあり、全国大会のシード権を獲得できることを主眼に進めてきました。この大会で権利を得てチャンピオンになった方もおられません。

さて今年2026年は10回目を迎え、39人を集め戦いが行われました。特にジュニア、それも小学生の活躍が目立ちました。

スタート順位が12位だった野田龍君が5連勝で単独優勝しました。その勝ちっぷりのよさは皆さんに見せたいくらいです。元チャンピオンの野口氏を倒した古瀬瑞季君。そして何より頑張ったのは、

2Rで対局が長引き封じ手となり、3Rの終了後に再開し、それを上位の対戦相手に勝ち切った安田雄君。すでに21時を過ぎていました。

また、今大会で権利を得た4名の方々の全国大会の活躍を念じつつ、筆を下ろさせていただきました。

■入賞選手：

1位 野田龍 5.0/5P
2位 斎藤寛将 4.5
3位 戸川賢太郎 4.0

■全日本選手権出場権獲得：

斎藤寛将、戸川賢太郎、松本侑也、Akeroyd Peter

神奈川チェス選手権2026

日程：3月28日(土)・29日(日)

会場：矢向地区センター(神奈川県横浜市鶴見区)

形式：スイス式4ラウンド、45分+30秒/手、国内スタンダード公式戦

参加選手人数：28名

1位 富井義括 3.5/4P
2位 溝端響太郎 3.5
3位 中川晟志 3.5

■全日本選手権出場権獲得：

富井義括、溝端響太郎、北田朋也

神戸チェス選手権2026

日程：3月29日(日)

会場：深江会館(兵庫県神戸市東灘区)

形式：スイス式4ラウンド、30分+30秒/手、国内スタンダード公式戦

参加選手人数：24名

1位 田中峻介 4.0/4P
2位 杓谷啓太 4.0
3位 堀江貴広 3.0

■全日本選手権出場権獲得：

杓谷啓太、堀江貴広、小野大志、内山陽路



全日本ユースチェス選手権 2026

神田大吾

4月4日(土)と5日(日)の2日間、東京都品川区きゅりあん(品川区総合区民会館)を会場として「全日本ユースチェス選手権2026」が開催されました。U18(18歳未満)

選手の日本一を決める戦いです。参加者が67名(昨年は48名)の盛会となり、加速スイス式6ラウンドの大会となりました。持ち時間45分+30秒/手の国内スタンダード公式戦です。

今年の参加選手を見渡しますと、レーティング2077の森谷翔が頭一つ抜け出ていますが、1800代に5人

(Mateo, Antoine、松永冬馬、遠藤秀馬、大沼航太、山川一将)が並んで虎視眈々。またレーティング上位者が下位の選手を相手に苦杯を喫する試合も少なからず、大会の行方は予断を許しません。白熱のゲームを1つご紹介します。

端本俊仁

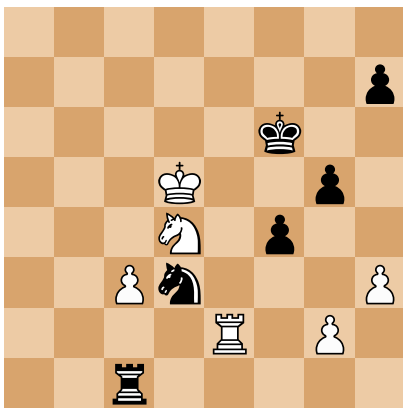
Ng,Alexander PN

Japan Youth Chess Championship

2026 (2)

D02

1.d4 Nf6 2.Nf3 d5 3.Bf4 c5 4.e3
Nc6 5.Nbd2 cxd4 6.exd4 Bf5
7.c3 e6 8.Bb5 Qb6 9.Qb3 Be7
10.h3 0-0 11.Bxc6 bxc6 12.0-0
c5 13.dxc5 Bxc5 14.Qxb6 Bxb6
15.Nb3 a5 16.a4 Bd3 17.Rfe1
Ne4 18.Be3 Rfb8 19.Nc1 Bc4
20.Ne5 Bxe3 21.Rxe3 Nc5
22.Nxc4 dxc4 23.Re5 Rc8
24.Ne2 f6 25.Re3 e5 26.f4 exf4
27.Nxf4 Kf7 28.Nd5 Re8 29.Rxe8
Rxe8 30.Nb6 Re4 31.Rd1 Ke6
32.Rd8 Re1+ 33.Kf2 Ra1
34.Nxc4 Rxa4 35.Nb6 Ra2
36.Nc4 Ra4 37.Nb6 Ra2 38.Nc4
a4 39.Rb8 Kd5 40.Ne3+ Ke6
41.Nc4 g6 42.Rb6+ Kf7 43.Ke3
Nd7 44.Rb5 Ke6 45.Kd2 Ra1
46.Ne3 f5 47.Nd1 a3 48.bxa3
Rxa3 49.Kc2 Ra2+ 50.Rb2 Ra1
51.Ne3 Rg1 52.Kb3 f4 53.Nc2
Kd5 54.Nb4+ Ke4 55.Re2+ Kf5
56.Kc4 Ne5+ 57.Kc5 g5 58.Nc2
Rc1 59.Kd5 Nd3 60.Nd4+ Kf6



激しいつばぜり合いが繰り広げられて、60手。棋譜用紙がちょう

ど2枚目に入るこの局面に山場が隠れていました。白はここでどう指すか？ 虎の子のパスポーン(c3)に「取り」がかかっているので・・・

61.c4

ポーンを進めることで守る。当然の一手に見えますが、疑問。エンジンの分析では61.Re6+ Kf7 62.Nf3 Rxc3 63.Nxg5+ Kg7 64.Kd4 Ra3と互いにポーンを取り合って互角の戦いです。純粋にチェスの可能性を教える興味深い手順ですが、人間には無理です。パスポーンを捨てるなんて思いつくはずがないですし、接近戦のなか、ルークをキングだけで支える手(62.Nf3)なんて、考えた心地がないので、考えもしないでしょう。

61...Nb4+

黒はチャンス逃しました。61...f3!で白はシビれます。62.gxf3 Nf4+でキングとルークの両取りがかかりますし、今度62.Re6+とチェックでルークを逃がしても、じっと62...Kf7と引かれると、次に...Nf4+のフォークが残るのでgxf3と手に戻す余裕がなく、...fxg2とパスポーンを作られて白は敗勢に転落するところでした。

これがあるので、白はポーンを取り合う変化(61.Re6+)に入るべきだったのです。

62.Kc5 Nd3+ 63.Kb5 Ne5 64.Rc2 Rb1+ 65.Kc5 h5 66.Kd6 Rd1 67.Kd5 Nd3 68.Rc3 Nb4+ 69.Kc5 Nd3+ 70.Kd5 g4 71.hxg4 hxg4 72.Ke4 Nc5+ 73.Kxf4 Rxd4+ 74.Ke3 Ke5 75.Ke2 Ne4 76.Rc1



ユースチャンピオンメダル



ユースチェスチャンピオン 森谷翔さん

Rd6 77.Ke3 Nc5 78.Rc3 Rb6
79.Ke2 Rb2+ 80.Kf1 Ne4 81.Rc1
Ng3+ 82.Ke1 Rxc2 83.Rc3 Rg1+
84.Kf2 Ne4+

0-1

1手30秒以内の短い考慮時間で互いに技を繰り出し、最後は白の落手(72.Ke4?)で均衡が破れましたが、敵のパスポンを取りに行く手が悪いとは普通は考えられず、白には不運でした。観戦者が手に汗握る熱戦で、ユース大会のレベルの高さを如実に示すゲームでした。

初日の3ラウンドを3連勝は森谷とNgと鍵谷俊の3名。次いで2.5ポイントに5名(前田康太朗、松永、山川、Agarwal, Aviral、尾崎優悟)が追いつかり、2日目は彼らの直接対決です。午前の第4ラウンドでは森谷、松永、山川が勝ちました。午後の第5ラウンドでは1番ボードの森谷vs山川が引き分ける一方、

松永が遠藤に勝ってトップに並びました。他の選手の追い上げも激しく、第5ラウンド終了時点の順位は、森谷と松永が4.5ポイントで同率1位ながら、わずかに0.5差の4ポイントで6人(Ng、山川、Agarwal、三津山六花、鍵谷俊、端本俊仁)が続きます。ほぼ横一線の競り合いのまま、最終ラウンドを迎えることとなりました。

そして夕方4時開始の第6ラウンド。1番ボード松永ー森谷はシシリアン・ディフェスから、いよいよ駒がぶつかるかの16手目で両選手合意のドロー。2番ボード山川ーNgは9手目でクイーン交換が行われ、クイーンレス・ミドルゲームの戦いとなって、22手でドロー。3番ボード鍵谷ー三津山は序盤から激しく駒がぶつかり合い、23手目に三津山が勝勢となるも決め切れず、77手でついにドロー。三者三様の星のつぶし合いのなか、4番ボードのAgarwalー端本は形勢互角の

まま長期戦となり、34手目、持ち時間がなくなり1手30秒以内で指すAgarwalに痛恨のミスが出て36手で終局。勝った端本がトップに追いつくのでした。

こうして同ポイントで首位に3名(森谷、松永、端本)が並び、タイブレークで今年のユースチャンピオンが決まりました。実力ある選手たちがひしめく大会ならではの終幕となりました。優勝者のメダルは、ムーンライト・チェスフレンズの栗林さまから寄贈いただきました。厚く御礼申し上げます。

優勝 全日本ユースチェスチャンピオン2026

森谷翔 5.0/6P

U18入賞者

1位 端本 俊仁 5.0/6P

2位 山川 一将 4.5

3位 WCM 三津山 六花 4.5



U18入賞者

- 4位 鍵谷 俊4.5
- 5位 立見 權4.5
- 6位 Agarwal, Aviral 4.0

- 2位 Ng, Alexander PN 4.5
- 3位 Jie, Jingfei 4.5
- 4位 前田 康太朗 4.0
- 5位 石川 謙信 4.0
- 6位 大沼 航太 4.0

- 2位 後藤 颯太 4.0
- 3位 Cherief, Zin 4.0
- 4位 Sirimalla, Srivatsa 3.5
- 5位 Bianchi, Paolo 3.5
- 6位 堀内 雄太 3.5

U18女子入賞者

- 1位 WCM 三津山 六花 4.5
- 2位 Hudimowa, Sofiia 2.0
- 3位 Amancio Niimoto, Nicolly Midori 2.0

U16女子入賞者

- 1位 Jie, Jingfei 4.5
- 2位 井上 聡美 3.0

U14女子入賞者

- 1位 新居 乃那 3.0
- 2位 Pellet, Yuna 3.0
- 3位 Li, Yiyi 3.0

U16入賞者

- 1位 森谷 翔 5.0/6P

U14入賞者

- 1位 松永 冬馬 5.0/6P

U14入賞者



全日本カデッツチェス選手権2026

4月4日(土)と5日(日)、12歳未満(U12)の選手が出場する「全日本カデッツチェス選手権2026」が開催されました。会場はユース選手権と同じく東京のきゅりあんです。

今年のカデッツ選手権は始まる前から注目されていました。U12の出場選手のなかに、2月から3月にかけて大人たちに交じって地方選手権を戦い、見事に全日本チェス選手権のシード権を獲得した選手が5人(糸数アントニオ、内山陽

路、新居冬馬、野田龍、古瀬瑞季)もいたからです。誰か1人がシード権を取っただけで話題になったのがつい数年前のことですから、カデッツの棋力向上のスピードには目を見張られます。

大会はU12(33名)とU10(33名)とU8(24名)の3つに分かれて進行しました。総勢90名がチェス盤をはさんで向かい合い、3部屋それぞれチェス界の未来の息吹がみなぎりました。スイス式7ラウンド、持ち時間30分+15秒/手の国内スタンダード公式戦が戦われ、結果は別表のとおりです。U12では

野田がライバルたちを次々となぎ倒し、圧巻の全勝優勝を果たしました。U10では渡部貴陽が、第3ラウンドをドローにして一歩後退するも、その後を4連勝して逆転優勝。そしてU8ではリストトップの堀理仁との直接対決を制した大久保翠が全勝で優勝を決めました。

よい成績を収めて笑顔の子がいれば、うつむいて、しょんぼりしている子もいましたが、対面でゲームする2日間を通じてきっとチェスの楽しさを感じてくれたことでしょう。年齢により来年はユースに上がる子あり、下から上って

U8入賞者





U10入賞者



U12入賞者 17

来る子あり。来年はどんな大会となるか、もう今から楽しみです！優勝者のメダルは、ムーンライト・チェスフレンズの栗林さまから寄贈いただきました。ありがとうございました！

優勝 全日本カデッツチェスチャンピオン2026

野田 龍 7.0/7P

U12入賞者

- 1位 野田 龍 7.0/7P
- 2位 安田 雄 5.5
- 3位 ACM 西田 詠人 5.5
- 4位 古瀬 瑞季 5.0
- 5位 新居 冬馬 5.0
- 6位 秋山 海璃 4.5
- 7位 内山 陽路 4.5
- 8位 Hernandez, Jino 4.0
- 9位 五木田 健誠 4.0
- 10位 Abeesh, Aarav 4.0

U12女子入賞者

- 1位 Biju Pillai, Nanma 4.0
- 2位 杉本 夕弦 3.0
- 3位 荒木 海樂 2.0
- 4位 Amancio Niimoto, Giovanna Yumi 1.0

U10入賞者

- 1位 渡部 貴陽 6.5/7P
- 2位 菊池 紗弥 5.5
- 3位 北原 史寛 5.0
- 4位 五木田 康誠 5.0
- 5位 加藤 嶺旺 5.0
- 6位 Arockia Vimalraj, Jonarth 5.0
- 7位 白戸 喜秀 4.5
- 8位 土橋 亜優実 4.5



カデッツチャンピオン野田龍さん

- 9位 Karthik, Diya 4.5
- 10位 渡辺 悟 4.0

U10女子入賞者

- 1位 菊池 紗弥 5.5
- 2位 土橋 亜優実 4.5
- 3位 Karthik, Diya 4.5
- 4位 手嶋 恋葉 3.0
- 5位 Solanki, Samaira 3.0

U8入賞者

- 1位 大久保 翠 7.0/7P
- 2位 堀 理仁 6.0
- 3位 Karthikeyan, Sarvesh 5.0

- 4位 白戸 幸秀 5.0
- 5位 大曾根 諒 4.0
- 6位 Ozawa, Elendil 4.0
- 7位 Cabeleira, Theo 4.0
- 8位 Maurya, Arnav 4.0
- 9位 Gupta, Shivansh 4.0
- 10位 西川 蒼七 4.0

U8女子入賞者

- 1位 西川 蒼七 4.0
- 2位 汐口 由華 2.0
- 3位 河野 絵美 2.0
- 4位 秋澤 羽音 2.0
- 5位 秋澤 斗音 1.0

木下 奏子さん

友人たちとの約束 一緒に目指したことのために 頑張りたい

きのした・かなこ

ベルギー留学中の2011年にチェスを始める。2024年の第45回チェスオリンピックに日本代表として出場し、2番ボードと3番ボードを務めた。2026年第46回チェスオリンピック代表内定。プレーヤー以外の面では、オランダで子どもたちにチェスを教える仕事をする傍ら、編集者としてCHESS Magazineの立ち上げ当初から尽力。



この度はチェスオリンピック日本代表メンバーへの内定おめでとうございます。まずはチェスを始めたきっかけについて教えてください。

21歳の誕生日に当時の彼氏に教えてもらったのが一番最初です。その日は友人たちでカフェに集まって、いつものように飲んでいました。たまたま「チェスを教えてやろうか？」という感じになって、その場で駒の動かし方から教えてもらいました。対局をやりながら覚えようということで最初のゲームを指したのですが、その時の初手がh4だったのはよく覚えています。なので特別なきっかけがあったわけではなかったですけど、覚えるのにはちょうどいい日になりました。

ここまで強くなられたのは、継続されていることも大きいと思います。木下さんは、ご自身がチェスを今まで続けてこられたのはどんな理由からだと思われますか？

単純にチェスが好きになったからだと思います。留学が終わって大学を卒業した後にオランダに来ましたが、その当時はただ来ただけで仕事もない状態でした。その中で、毎日のように遊びに行っていたチェスカフェが私をバーテンダーとして使ってくれました。バーテンダーの仕事をする中で友達もたくさんできましたし、オランダ語もこのチェスカフェに通う中で覚えたので、ここが第二の家みたいになっていました。生活とチェスが一体化してい

るから続けてこれたんだと思います。

チェスのこういった部分が好きですか？ チェスをプレーする楽しさはどういったところにあると思いますか？

「チェスのこういった部分が好きですか？」って聞かれると、途端に分からなくなるんですね。具体的にこういうところが好きってポイントが、自分の中ではまだつかめないというか、言葉にするのが難しくなって思うんです。为什么呢？好きな人がいたりとか、恋人がいたりして、どんなところが好きですかって聞かれた時に、顔が好きとか、優しいところが好きとか、いくつかはそういう風に挙げるって言われた

ら挙げられると思います。でもじゃあ顔が良ければ誰でもいいのかって言われるとそうでもないし、優しい人だったら誰でもいいのかって言われるとそうでもないし。チェスも同じような感じで、1つ1つ好きなことはあるんですけど、その時々で好きって思うところも変わりますし、だからチェスは、何かつかめないところが逆に楽しいのかなって感じがしますね。

前回（2024年）のオリンピックに引き続き、今年のオリンピックも日本代表選手に内定されています。前回出場された時からどんなところが成長していると思いますか？

チェスそのものの内容で言うと、もともとブリッツメインでした。チェスカフェにいる強豪プレーヤーや通っている人たちのチェスを見て育った、育ててもらったという感じのプレーヤーなので癖が強かったです。クラシカル

に通用しないような手だったり、リスクを取りすぎる手だったり、プラクティカルな判断で最善ではない手なんかを指すスタイルでした。前回のオリンピックでは、自分のスタイルを矯正して、クラシカルで通用する知識や考え方を仕上げていくというのが目標でした。特にオープニングの知識を要求されるところが弱くて、前回のオリンピックが終わってから今まで結構な時間をオープニングに費やしました。今はようやく学んだオープニングが自分の中に蓄積されたかなという感じがしているので、残りの期間をかけてブラッシュアップして、オリンピック本番までに使えるようになりたいなと思っています。

木下さんのプレースタイルに一番影響を与えたものについて教えてください。

チェスクラブの仲間たちだと思いますね。チェスクラブの人たちに限らず、身近にいた人たち

のプレーを見て自分のチェスに取り入れていったところが多いので、セオリーとか自分で勉強して掘り下げていくというのは本当に数年前まではあまりしなかったですね。わたしの勉強スタイル、どんな風に学習していくかっていうのも、チェスに限らず見て、そのひとがやっているのをまねして、そのまま覚えていくというのが多いです。言語も音楽もそうでした。モデルを作って、こんな風にしたいと思ったのをまねして、自分でできるようになるまでやってみるというスタイルが自分に一番合っていると思っています。勘違いじゃないのと思われるかもしれませんが、覚えるのがほんとに苦手で、周りにはいる人たちを見て学ぶというのが、時間はかかりますけど自分に合ったやり方ですね。そのせいかここにいる人たち、周りにはいる人たちのプレースタイルがそのまま自分のスタイルになっているということがありましたね。



チェスをプレーする上で、どんな考え方や価値観を大事にされていますか？

チェスをプレーする上で大事にしていることは「チェスを大事にすること」ですね。チェスは私にとって恋人のようなもので、私から愛情を注がないと向こうから返ってくることもないです。愛情を注ぐと必ず結果として返ってくるかって言うと、そうではないんですけど。でもまず自分からしないと何も返ってこないものなので、いつもチェスに愛情を注ぐ

ように、何らかの形で愛を注ぐようにしています。

チェスが日常にあることが当たり前になってしまって、もう時間を作ってとかではなくて、ずっとチェスのことを考えています。何かチェスのことをしているのがもう日常になってしまいました。逆にチェスをしない時間を作らないとずっとチェスばかりしている人間になってしまったので、意識的にチェス以外のことをしようと思って毎日過ごしています。生活が破綻しそうになったことはないんですけど、彼氏に「チェスを教えたことが自分の人生の中

で1番の後悔だ」と言われたことがあります。私がいまにもチェスに没頭しすぎて色々なことを放棄するようになったからですね。私が子供そっちのけでチェスをしてる時とかがあって、家に子供達と彼を置いてチェスの大会に出たいって無理言ったり、チェスの話ばかりしたりしていて、そんな風に言われましたね。

代表入りを知った瞬間、どんな気持ちでしたか？

代表入りを知った瞬間はとても嬉しかったです。1年間またオリンピックに出たいと思ってチェ

スをしていた部分も多少あるのでホッとしましたし、嬉しかったです。

日本代表として出場することは大きな名誉である一方、準備や責任も伴う決断だったのではないかと思います。今回のオリンピックに日本代表として参加する決断をされた理由について教えてください。

出たいと思って1年過ごしていたので決断という感じではないんですね。チェスは基本的に個人競技なので、自分以外のものを背負ってというか、日本という国を代表してプレーできることはすごく誇りに思うんです。自分のプレーがその国を代表するゲームになるのは、とても重みを感じることはありません。前回のオリンピックは初めてだったので、自分のゲームが世界中の人に見られているっていう、日本からだけではなくてオランダからもみんなが見てるっていうのは、すごく緊張しました。良くない手を指したり良くないゲームをしてしまったらどんな風に思われるんだろう、という気持ちもありました。

日本でプレーをすることが代表選手になる1つの条件でもあるので、その面では海外に住む私にとっては負担が大きく、迷うくらいなら挑戦しない方がいいと思っています。昨年は日本に2回渡航して、3回大会に出ました。そのうちの1つが女子選手権ですね。優勝すれば1発でオリンピックの権利が決まる大会で、トップシードでしたし、もちろん優勝したく



オリンピック2024（ブダペスト）

て行ったんです。ここまでくると迷いなどなく、何が何でも出たいみたいに聞こえますが、そこで入賞権にかすりもしない、入りもしないのであれば仮にレーティングがクリアしていても代表は辞退しようと思っていました。

ご自身の強みはどんなところですか？

メンタルが強いところかなと思います。チェスだけに限らず多少のことではへこまないですし、何事もポジティブに捉える性格なので、だいたいいつも明るく物事を進められることですね。オープニングがまだよく分かってなかったりした時期は、最初から悪いなんていうことは当たり前で、最初の3、4手目から変な手を指して悪いみたいなことはよくあったんです。でもそこからひっくり返していく、「大丈夫このぐらい」「このぐらいなら何とかできる」と思えるのはチェスを指すのによかったかなと思います。多少悪くなくても自分の力で何とかするというポジティブな発想につながっているかなと思います。

代表チームには様々なバックグラウンドを持ったプレイヤーが集まっていて、みなさん個性があると思います。チームの中で、木下さんの役割はどんなところにあると思いますか？

ムードメーカーですかね。気さくなので割と誰とでも問題なく喋れるんです。オリンピックはチームで日本を代表して出るので、ただでさえ気が張りやすい環境



なので、チームのメンバーが余計な気を使わなくていいような存在を目指しています。私が個人で大会に出るようになる以前は、チェスクラブのチームとしてコンペティションに出るのが唯一の競技の場で、だから、いつもチームと一緒に試合に出るっていうのが自分の中では普通だったんですね。始めたばかりの頃は自分が一番弱かったり、チームに迷惑をかけてしまう存在だったんですけど、それでも別にチームのみんなは何も嫌なこと言わず励ましてくれて、一緒に試合を検討してくれたりとか、次に繋がるようにしてくれたりとかありました。だからチームとしてチェスをするっていうのは自分の中では割と自然なこと。逆に日本ではあまりないと思うんです。自分がされて嬉しかったこと、自分がされてありがたかったことを、オリンピックのチームにも返していけたらいいかなと思っています。

今回のオリンピックで、特に楽

しみにしていることや期待していることは何ですか？

今回のオリンピックで、特に楽しみにしていることは、日本のプレイヤーと交流できることですかね。私はオランダに住んでいるので日本の大会に出る機会もあまりないですし、集まってみんなと顔を合わせることもほとんどないので。逆に世界のプレイヤーと交流するっていうよりは、日本のチームのみんなと長い期間一緒にチェスをできることが楽しみです。もう1つ、前回のオリンピック以降海外の大会に出たりとか観戦に行ったりして知り合いのプレイヤーが何人かできたんですけど、私がプレイヤーだということをも分らない人が結構いると思います。オリンピックの場で日本のユニフォームを着てプレイヤーとして出ていったら、遭遇した時に驚かれるんじゃないかなと思います。本当に言われるんですよ。「え？」みたいな。「なんかただのマスコットかと思った」みたいな。「かなこち

エスするの？」って言われますね。ただのペアリング確認係じゃなかったんだとなるんじゃないかと思います（笑）。

オリンピックまでの間、チェスに向き合う時間がこれまでより相当増えると思います。チェスから離れる時間は必要だと思いますか？

チェスから離れる時間が必要かって言われると必要ないですね。当てられる時間は全てチェスに当てているような状態ですけど、もっともっと増やせるものなら増やしたいっていう感じなので。離れたから何かリフレッシュできるかっていうとそうでもなくて、チェスのリフレッシュはチェスです。チェスで嫌なことがあったらまたチェスをしますし、また特に私には必要ないかなと思っています。

木下さんは何のためにオリンピックに参加されますか？ 個人として目標にしていることがあれば教えてください。

もともと目指したのはコロナの前だったと思います。きっかけはチェスクラブの常連が日本のレベルを見て、「頑張れば出れるんじゃないの？」と言ってくれたことでした。それまではオリンピックの存在も知らなかったですし、他の大きな大会も知らなかったです。その友人が「やってみなよ」と言ってくれたことがきっかけでしたね。前回のオリンピックに出場できたんですが、その友人はコロナ禍で病気になってし



まい私が代表になる前に亡くなってしまったんです。彼は私が代表になれるようにと、チェスクラブに呼び出してトレーニングをしてくれたような人で、彼の想いもあって頑張っていたところがありました。前回のオリンピックが終わった後に、また他の友人がトレーニングをしてくれました。次はタイトルを目指そうと言って、トレーニングプランまで作ってくれて、次はどうしようかなとか相談していたんですけど、その矢先にもその方も亡くなってしまいました。それも突然のことでした。その友人たちとの約束、一緒に目指そうと言っていたことを、自分の中で約束にして頑張ろうと思っています。

オリンピックは2年に1度しかない大舞台です。大会への意気込みをお願いします。

今回のオリンピックでは勝ち越しを目指したいと思っています。前回のオリンピックは決して結果が良いものではなかったので、今回は結果を残せるように頑張りたいです。個人の結果がチームの成績に繋がっていくので、チームに貢献できるように精一杯やっていたらと思っています。

今回はお話をお聞かせいただきありがとうございました。9月のオリンピックで大いに活躍されるのを期待しております。

(聞き手:マガジン編集部 鈴木秀聡)

Interview Next Generation

ユースプレイヤー
インタビュー

このコーナーでは、これからの日本チェス界を盛り上げる若手プレイヤーをご紹介します。第14回目のインタビューを引き受けてくれたのは松永冬馬さん。近年メキメキと力を伸ばしていて、これからの成長と活躍が期待されるユースの1人です。実はインタビュアー（木下）も昨年のチーム選手権で面白い試合をさせてもらい、盤上での粘り強さがとても印象に残っています。光る若さの中のところどころ渋い一面を垣間見せる松永さんの魅力に迫ります。

Interviewer



Kanako
Kinoshita

松永冬馬さん(14)

Tomoya Matsuunaga



Data

松永冬馬（まつなが・とおま）

2012年2月1日生まれ

出身地：日本、東京都

チェスを教わった人：Max Dlugy、
James de Toledo、Felipe El Debs

趣味：チェス、友達と遊びに行く
こと、キャッチボール

学校の好きな教科：英語

将来の夢：GM、心理学者

好きな食べ物：バーガー

チェスとの出会いは？

5歳のときにアメリカから一時帰国をした際に、祖母の家にチェスのセットがありました。その箱にナイトの写真があり、当時動物が好きだったため、ゲームに興味をもち、チェスをやってみたいと思い、そのとき初めてチェスをしました。その1ヶ月後にアメリカに帰り、小学校のチェスクラブに入ってから、チェスを本格的に始めました。そこで最初のコーチのIMに出会いました。小学校2年生のときにオンラインでもチェスをするようになり、特に真剣に取り組むようになりました。その後アメリカで本格的に大会に参加し始めました。そこでは毎週ニューヨークのマーシャルチェスクラブのトーナメントに参加していました。

チェスが好きな理由は？

チェスをやっているとおもしろいと感じます。自分は考えることが好きで、チェスの手を指すときにはよく考えるこ

とができるため長く続けています。また長時間の試合に勝ったときの喜びが大好きなのでチェスを続けています。

チェスのどんなところが特に好き？

エンドゲームが好きです。エンドゲームにはオープニングやミドルゲームにないzugzwangなどの面白い要素があり、そこが最も好きなおところ。また、オープニングでプレパーが成功したときに、チェスが好きだと感じます。

好きなプレイヤーは？

GM Ulf Andersson（ウルフ・アンダーソン）が好きなプレイヤーの1人です。自分とスタイルが似ていて、エンドゲームでの試合の勝ち方や負けているときの粘り強さが好きなおところの一つです。また、オープニングも自分と同じく鉄壁に覚えて指しているのではなく、結構適当に指しているところに憧れています。



▲ 2025年大阪・関西万博でのGM Judit Polgarさんとの同時対局にて



▲ Asian Juniors Chess Championship 2024にて

普段どこでチェスをしていますか？

普段は家でチェスコムやリチェスなどで試合をしたり、パズルを解いたりしています。また、海外の人とあらかじめ始める時間を約束して、オンラインでクラシカルなどを指すこともあります。

トレーニングをするときにはコーチからもらった問題を解いたり、コーチから勧められた本などを讀んだりしています。また、チェサブルを通じてオープニングのトレーニングをしています。

印象に残っている大会、ゲームは？

2023年11月にアメリカのペンシルヴァニア州のフィラデルフィアで開催された National Chess Congressという大会が、今のところ最も印象に残っている大会です。この大会では人生で初めて優勝することができたため印象に残っています。それより前の大会では勝ち越ししても優勝争いをすることができず、チェスが上達していたと感じても結果に変えることができなくて苦戦していましたが、この大会で初めて優勝することができました。

チェスを通して経験した特別な出来事は？

昨年の6月にハンガリーのGM Judit Polgarさんとの同時対局で指すことができ、自分のチェスが上手だと褒められたときは大変うれしかったです。その試合ではエクステンジアップで勝っていましたが、その後自分のミスにより負けてしまいました。しかし、チェスのレジェンドに自分のチェスを褒めてもらったことで、ほっとしました。

お気に入りのゲームを教えてください

以下の試合は、初めてタイトルを持っている人にクラシカルで勝ったときの試合です。タクティクスで勝ったのではなく、自分が相手の小さいミスの一つずつ利用して勝つことができた試合のため、気に入っているゲームです。

Toma, Matsunaga

Yamada, Kohei

Japan Open 2024 (2)

1.e4 e5 2.Nf3 Nc6 3.Nc3 Nf6
4.d4 exd4 5.Nxd4 Bb4 6.Nxc6
bxc6 7.Bd3 O-O 8.O-O d5
9.exd5 cxd5 10.Bg5 c6 11.Qf3
Be7 12.h3 h6 13.Bf4 Be6 14.Ne2
c5 15.Ng3 Qd7 16.Be5 c4 17.Bf5
Ne8 18.Rfe1 Bf6 19.Qg4 Bxe5
20.Rxe5 Qd6 21.Re2 Nf6 22.Qf3

Rfe8 23.Rae1 Bd7 24.Bxd7 Qxd7
25.Nf5 Kh7 26.Re7 Qc6 27.Qg3
Rg8 28.Rxf7 Nh5 29.Qg4 Qg6
30.Ree7 1-0

これからの目標は？

GMになってから心理学者になってみたいです。人の脳の考え方が自分にとって面白く、心理学者になってみたいです。今後、今までにない発見ができればいいと思っています。

出てみたい大会はありますか？

将来的にオリンピックに出てみたいです。今まで強い人と大会で数試合あつたことはありましたが、毎試合自分より強い人たちと対局できる大会に出たことはないため、オリンピックに出てみたいです。

他のユースのプレーヤーや読者に伝えたいこと

言いたいことがありすぎてすべて書くことはできませんが、とにかく地道にチェスをやっているとそのうちチェスが一気に上達します。毎日長時間チェスをやる必要性はあまりないですが、毎日1〜2時間程度チェスをやっていれば上達していくと思います。

チェス大会 【文】上杉賀子

in アメリカ

- 全米高校チャンピオン/FIDE マスターへの軌跡 -

息子（上杉 晋作・2007 年高校 1 年生で全日本史上最年少チャンピオン）が 2009 年チェス国籍日本の最年少 FIDE マスターとなり 2010 年全米高校選手権で優勝するまで（さらにアメリカの Senior Master の資格となる USCF レート 2400 の壁を超えるまで）参戦した、アメリカの全ての公式戦、約 180 大会の様子を順番に載せてみようと思います。渡米から 1 年半、紆余曲折を経て現地生活に馴染んできた頃、小学校のチェスクラブの案内を見かけて入部。これが始まりでした。その一年後、いよいよトーナメントプレイヤーとして出陣です。

NO.88 グレーターフィラデルフィアチェス選手権

2007 年 4 月 20 日～22 日
晋作 (15 歳) の結果: 4.0P/5Games
レーティング 2212 → 2223

フィラデルフィアのメインラインチェスクラブ主催です。クラブ代表は有名な指導者である Dan Heisman 氏。会場はホテルではなく大学なので近くのホテルをとりました。もともと来るつもりはありませんでしたが、先週末の Nationals の流れで友達がくるというので「会いに」きたわけです。4 月にはいって、毎週末チェスの遠征トーナメント。補習校中学部を卒業したこと、地域の野球チームをやめたことでこういうトーナメントに急遽参加することが可能になりました。金曜夜は道路も混んで 3 時間余りの運転は疲れしました。昨年は GM Wojo やエルベストも出場してまああのレベルでしたが、今年は IM1 人、FM2 人、WFM1 人、NM5 人。Open セクションは 29 名、U1800 が 23 名、U1400 が 36 名のこじんまりした大会です。

4 月 21 日

昨夜の初戦は 1890 くらいにサドンドス 5 時間で勝ちきれず、思わぬ引き分けでどうなることかと思いましたが (Nationals の疲れも車の移動の疲れもあるのか) が、

今日の 2 戦目、3 戦目は 2000 台の大学生、1800 台の 10 年生にきっちり勝ちました。1800 台の子はまだ始めて 1 年半くらいで、1900 台 2 人に勝ちと引き分けでノっていましたが、経験の違いを見せました。でもこの 10 年生はのびてくるでしょう。いつもはやたらとブリッツやバグハウスでもりあがる合間ですが、今日は熱心な友達とアナライズを何度もしていました。これが非常に勉強になっているように思います。(写真を見るとわかりますが、やはり床に座ってやっています。)

美人の 10 年生の WFM のお父さんからメルアドを教えてくださいました。いままでも何度か大会では会っていて、このごろは WFM も私を見ると笑顔で挨拶してくれます。晋作はまだ彼女より格下のときに対戦して引き分けて以来、コーチでもあるお父さんが晋作のチェスに注目してくれています。その後ほぼ同じレートになり、隣に座ることも多いので、何枚かツーショットの写真がたまっていました。このところやっとな晋作の方が (一時的でしょうが) レートも上になり、対等にお話ができるレベル (!?) になりました。今晚は比較的早めに終わったので晋作は学

校の宿題をしています。明日の帰りはまた深夜です。

4 月 22 日

4 戦目、美人 WFM と。信じられない完勝でした。むこうもびっくりでした。

5 戦目、IM Bryan Smith とは 4 度目の顔合わせ。昨年この大会での初顔合わせのときは箸にも棒にもかからず完敗でしたが、今年にはいっての 2 戦はかなりいい戦いをしていました。そして今回、4 戦終わって単独 1 位の彼が単独 2 位の晋作に数手のあとドロウをオファーしてきました。いわゆる Grand Master Draw というやつです。晋作はもちろん受けました。あそこで断っては失礼です。そういう扱いをしていただけるようになったことを嬉しく思いました。彼は白だったので、簡単に勝てる相手だったら戦って 5 戦全勝で終わるでしょうから。

USCF2222 まで上がりました。これで少しは安定したナショナルマスターといえるでしょうか。



床に座って友人と棋譜の検討

普段の練習を 本番と同じ駒、同じ盤で





モダン・スタントン 96mm ヘビー



プラスチック製
駒のみ

¥3,980



Yahoo!ショッピング 
Amazon.co.jp 



オフィシャル・スタントン 95mm



木製
駒のみ

¥14,800





Yahoo!ショッピング 
Amazon.co.jp 

トーナメント 51cm 57mm



ビニール製
盤のみ

¥2,680



Yahoo!ショッピング 
Amazon.co.jp 

モダン・トーナメント 44cm ヘビー



プラスチック製
盤と駒のセット

¥5,680

Yahoo!ショッピング 
Amazon.co.jp 

他にもたくさんのチェス用品を取り揃えております
チェス用品のご購入は



CHESS JAPAN
GAME AND ART

Yahoo!ショッピング：<https://store.shopping.yahoo.co.jp/chessjapan/>

公式HP：<https://www.chessjapan.com/>

※価格は掲載時点のものです。



初めての相手と、気軽に指せる楽しみ

Chess Center UENO

入場料 **500円** 税込

営業
時間

木 17:00
▼
曜日 22:00

土 12:00
▼
曜日 17:00

日 12:00
▼
曜日 17:00

チケットご購入
(Peatix)

※最終入場は各営業日の終了30分前です。



チェスセンター上野

東京都台東区北上野2-11-3シルバーフラット101

Access :

東京メトロ日比谷線 入谷駅 徒歩8分
東京メトロ銀座線 稲荷町駅 徒歩9分
JR/東京メトロ 上野駅 徒歩11分

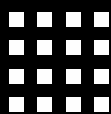
公式HP : [リンク](#)

お問い合わせ : info.chesscenterueno@gmail.com



1人でもOK

スタッフがお相手します！



各部最大16人

みんなで一緒に！



保護者の付き添いOK

未成年1人につき1人まで無料

所在地

(Google Map)



編集部

木下奏子 神田大吾

山内美加 真鍋浩

鈴木秀聡 桑田晋

森谷真理子 白水宏樹

(順不同)

発行

一般社団法人日本チェス連盟

本誌に掲載された写真、イラスト、記事、棋譜の解説等について、無断転載および無断配布を禁止します。著作権はそれぞれのクリエイターにあります。ご意見・ご感想などは japanchess.editor@gmail.com までお寄せください。